

くる来るめぐる

増毛

旅のしおり。



動画でみる
増毛の魅力



増毛町観光動画
ポータルサイト

<http://www.mashiketv.com/>

増毛町（暑寒別天売焼尻国定公園）
<http://www.town.mashike.hokkaido.jp/>

増毛観光情報局
<http://mashike.jp/tourism/>

■お問い合わせ先 増毛町観光協会（増毛町役場商工観光課）

TEL.0164-53-3332 FAX.0164-53-2348

〒077-0292 北海道増毛郡増毛町弁天町3丁目61番地 ※8:45-17:15（土日祝除く）

2023年10月改訂

味 覚

甘エビ、ウニなどの豊富な海産物。サクラランボ、米など旨味の強い農産物。農水産加工品や料理、日本最北の酒蔵「国稀酒造」の地酒など、増毛は食の宝箱です。

この町には、山があり、森がある。川があり、海がある。歴史があり、文化がある。増毛山地や日本海からいたたく、豊かな食の恵み。あったかくて気さくな町の人がいる。ゆっくり散策したり、自転車で少し先へ足をのびしたり。車であちこちめぐるのがいい。いろんなヒト・コト・モノに、めぐり逢う町、増毛。

いろんな増毛に 逢いましょう

自 然

暑寒別岳連山、雄冬海岸を含む一帯は、平成2(1990)年、暑寒別天売焼尻国定公園に指定され、暑寒別岳が海になだれ込む雄冬海岸は奇岩絶壁の絶景です。

宝暦年間に漁場が開かれ、道北随一の歴史ある増毛。明治から昭和初期の建物が残る駅前歴史的建物群と旧増毛小学校は北海道遺産に指定されています。

歴 史

歴史が薫る古き佳き町。

増毛駅前に今も残る明治・大正・昭和初期の建物。ニシンの豊漁にわいたあの頃。それから時は流れ、時代はめぐり、いま、増毛ノスタルジアが新しい旅になる。



終着駅として映画にも登場 増毛駅

留萌-増毛間の鉄道は、深川-留萌間の開通に遅れること10年、大正10(1921)年に開通。開業当初から、鉄道はニシン漁等の貨物輸送や人々の重要な交通手段でした。始発駅であり、終着駅である増毛駅は、「駅 STATION」や「新網走番外地 さいはての流れ者」など映画の舞台となりました。平成28(2016)年12月5日、留萌-増毛間の鉄道は、多くの町民や鉄道ファンに惜しまれながら廃線となりました。現在は、開通当時の駅舎に復元整備して、交流の拠点として活用しています。



旧富田屋旅館

弁天町1丁目 [昭和8(1933)年]

昭和50年代前半に営業終了。現在は増毛町で管理保存しており、ふるさと納税でお寄せいただいた寄附金を活用し、外壁及び1階の一部の改修が完了しました。外からの見学が可能です。

1 観光案内所

(旧多田商店=大正2年創業の雑貨店)弁天町1丁目 [昭和8(1933)年]

2 ぼちぼちいこか増毛館

(旧増毛館=大正時代創業の旅館)弁天町1丁目 [昭和7(1932)年]

3 ふるさと歴史通り

弁天町1丁目~稲葉町1丁目
増毛駅を起点とする歴史的街並み。明治中期に建てられた国重要文化財「旧商家丸一本間家」を始め、日本海の風雪にも耐えた石造りや木造の建物が並びます。



次世代へ継承したい宝物 旧増毛小学校

明治11(1878)年、弁天町の高台(現増毛町役場付近)に増毛教育所を建築したのが増毛小学校のはじまりです。昭和11(1936)年、現存する木造校舎としては道内最大規模である旧増毛小学校が町を見下ろす見晴町の丘に移転され、平成24(2012)年3月まで75年余りにわたり増毛の子供たちを見守りました。かつての面影を偲び訪れる人は後をたちません。増毛駅前ふるさと歴史通りに今も残る明治～昭和のはじめにかけて建築された歴史的建物群と共に、平成13(2001)年、北海道遺産に指定されました。



昭和ノスタルジーを感じる体育館は芸術的ともいえる美しい木組みの木造トラス工法。

築100年以上(推定)、国稀酒造所有保管蔵 千石蔵

千石蔵／稲葉海岸町53
☎0164-53-1050(国稀酒造)



かつては増毛港で漁具の保管に使われ、大正時代に港拡幅工事のため現在地に移転。ニシン粕保管に使用されましたが現在は漁具、写真展示やイベントに活用しています。



道内有数の彫刻神社 増毛郡総鎮守 巖島神社

宝暦年間、松前の商人・村山伝兵衛が運上屋の氏神である弁天社を創設したのがはじまりと伝えられています。移転を経て明治26(1893)年、新潟県の宮大工・四代目篠田宗吉がおよそ2年の歳月をかけて現在地に総檜造の本殿を完成させました。本殿前面は獅子・鳳凰など77面の彫刻が施され、拝殿内は花鳥風月や雲龍の日本画が天井を彩ります。江戸時代後期作の奉納絵馬ほか、参道の唐獅子、灯籠など貴重な宝物がいくつもあります。平成2(1990)年、本殿が増毛町有形文化財第1号に指定。平成30(2018)年、本殿一棟と奉納絵馬額7点が北海道有形文化財に指定されました。

巖島神社 社務所／弁天町3丁目 ☎0164-53-2360



増毛の歴史をさかのぼる 元陣屋

蝦夷地を外国の侵略から守るため、秋田藩は安政3(1856)年に「秋田藩増毛元陣屋」を設置。その跡地に総合交流促進施設「元陣屋」があります。増毛町の侍文化の歴史を資料で学んだり、映像体験ができます。

増毛町総合交流促進施設
元陣屋／永寿町4丁目49
☎0164-53-3522
【営】9:00～17:00
【休】木曜 ※木曜が祝日の場合はその前日

明治時代の姿をそのままに



※国指定重要文化財(平成15年)

創業明治十五年

日本最北の清酒蔵



明治時代の姿をそのまま現代へ 旧商家丸一本間家

本間家は、初代・本間泰蔵氏が明治8(1875)年に呉服商を開業したことに始まります。ニシン景気で賑わう増毛では商品が飛ぶように売れました。時代の波に乗り、荒物雑貨、ニシン漁の網元、海運業、酒造業と幅広く事業を展開し、家屋もそれに伴い増築されていきました。酒造業は現在でも続けられており、国稀酒造として人気を博しています。屋根瓦の一枚一枚には家紋が彫り込まれ、壁面や門柱には洋風の装飾が施されています。現在残る建物は、主に呉服店舗、居宅、呉服蔵、醸造蔵、付属屋の5つで構成されており、20年以上の歳月をかけ明治35(1902)年に完成したものです。

ヤン衆のチカラ水! 国稀酒造

初代・本間泰蔵氏が、増毛郡役所に醸造免許鑑札願を届け出た、明治15(1882)年創業。当時、日本酒の多くは本州からの移入酒で、安いものではありませんでした。しかし、佐渡の知人に酒屋がいたことから知識があった泰蔵氏は、増毛での自家醸造を思い立ったと言われています。創業から20年間は旧商家丸一本間家敷地内にある醸造蔵で酒造りをしていましたが、ニシン景気による日本酒の需要が続いたことで明治35(1902)年、現在地に増毛産軟石を使った酒蔵を建設しました。

※ヤン衆／ニシン漁場で働く男達



本間家の歴史はもとより、増毛の歴史や見所などもご案内しています。また、全書を乗り越え日本点字図書館を創立した泰蔵の孫である本間一夫氏の生涯も展示しています。お気軽にお立ち寄り下さいと話す 松本館長。



明治へタイムスリップ

建物の外観、内観はほぼ明治35(1902)年当時のまを維持。平成15(2003)年に国指定重要文化財に指定されました。建物内は見学できるように公開されています。

往時のまに一般公開

旧商家丸一本間家が建つ道増毛港線沿いは通称「ふるさと歴史通り」と呼ばれています。「天塩国随一の豪商」と言われた明治の隆盛そのまの付まいです。



店内の利き酒コーナーでは、定番銘柄をはじめ期間限定品や蔵元限定品を、国稀酒造の歴史とともに銘醸の味わいを笑顔で語りながら、そそいでくれる佐藤店長。



pick up!

国稀で買えるレア商品

地元限定酒、酒粕(板粕12月〜4月・諸白粕9月)のほか国稀グッズが買える。

飲みくらべてみる

南部杜氏と蔵人が丹精こめて造る酒蔵を見学しながら、国稀酒造全銘柄の試飲ができます。日本酒の特徴を聞き、存分に飲みくらべできるのも蔵元ならでは。



旧商家丸一本間家／弁天町1丁目27 ☎0164-53-1511

【営】10:00〜17:00 ※営業期間／4月下旬〜11月上旬 【休】木曜 ※祝日は前日、7月・8月は無休。

入館料：一般400円

国稀酒造／稲葉町1丁目17 ☎0164-53-1050

【営】9:00〜17:00 【見学】9:00〜16:30 【休】年末年始

雄冬海岸をめぐる。

雄冬海岸に、立ち止まる

「岩」や「岬」をぶらりとみる。



銀鱗(ぎんりん)の滝

近くにニシン番屋があった頃、漁を終えた漁師たちが滝で衣服を洗った時、滝の水が落ちたニシンの鱗で銀色に光りました。黒岩トンネル札幌側出口に位置し、車1台分の駐車スペースがあります。



白銀(しらがね)の滝

暑寒別岳連山の山肌を伝い流れ落ちるこの滝は、夏は清涼感に溢れ、冬は滝全体が凍るダイナミックな姿を見せてくれます。駐車帯が整備されており、雄冬市街から札幌方面へ少し走った場所にあります。(管轄/石狩市)

増毛山地の山形がそのまま日本海になだれ込み、高さ100mの断崖絶壁が続く雄冬海岸。平成4(1992)年に増毛・雄冬間が通年開通し、国道231号が全面開通してからまだ四半世紀しか経過していません。雄冬海岸にはマッカ岬からカムイェト岬間のように人を寄せつけない秘境が未だに点在し、美しさと厳しさをあわせ持つ凜とした自然風景が広がります。



烏帽子岩



観音崎



冬の雄冬海岸



トド島(海馬島)

民話が残る別荘。かつては陸の孤島と呼ばれ、船での往来しか交通手段のなかった岩尾・雄冬。



動画でみる増毛の魅力
増毛町観光動画ポータルサイト
mashiketv.com

▲雄冬山



サンセットウエーブ



カムイェト岬



▲天狗岳

雄冬岬展望台・岩石公園

雄冬の名前はアイヌ語の「ウファイ(燃える夕日)」に由来しています。標高135mにある360度パノラマの展望台からの絶景は、晴れた日には天売・焼尻島や積丹半島を望むこともできます。



雄冬神社

明治初期に始まった「雄冬神楽」は増毛町無形文化財第一号。また、故高倉健さん主演の映画「駅STATION」(1981年・東宝)では、増毛市街地はもとより雄冬神社もロケ地として登場しています。

雄冬海岸地図アイコン



増毛山地をめぐる。

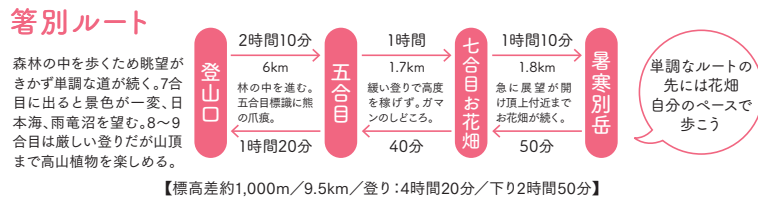
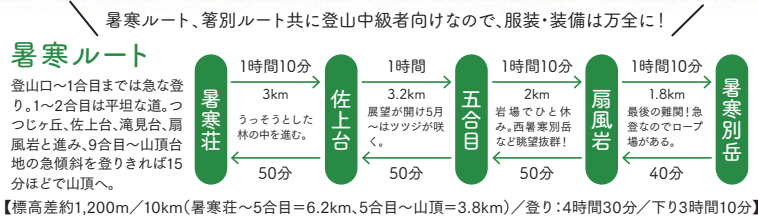
増毛山地の最高峰・暑寒別岳の標高は1,492m。増毛側からの登山ルートは暑寒ルートと箸別ルートの2本。雨竜側からは縦走路ルート1本があります。暑寒別岳は豪雪地帯のため、4月～5月の連休にかけて春山スキーを楽しむ登山者も多く、7月中旬まで残雪が白く輝く秀峰です。山開きは例年6月中旬で、晴れた日の山頂からは羊蹄山、大雪山、利尻山、積丹半島などを眺望し、雄大な日本海の景色と群別岳、浜益岳、西暑寒岳、南暑寒岳などの美しい山容に目を奪われます。



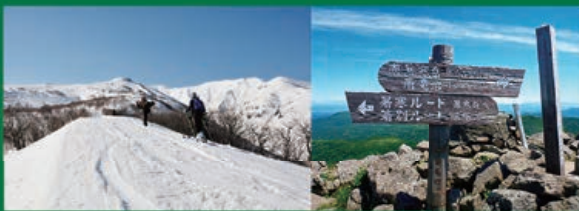
暑寒ルート



箸別ルート



暑寒ルートは、山小屋「暑寒荘」が登山口にあり、佐上台、滝見台、扇風岩など見晴らしの良いルートとして人気です。箸別避難小屋が登山口にある箸別ルートは、登山口の標高が暑寒ルートより200mほど高く、暑寒ルートと比べて緩やかな登り。7合目からは高山植物の群落が山頂にかけて広がり、花のルートとして人気です。暑寒、箸別両登山口には駐車場があり、市街地から車で20分足らずとアクセスが良いのも特徴のひとつ。近年は、本州からの登山者が特に多く訪れています。



日本二百名山の秀峰・暑寒別岳。暑寒別天売焼尻国定公園に指定された雄大な増毛山地の景観に息をのみ、目を見はる。



暑寒荘(暑寒ルート登山口) 標高:280m
P 30台/収容人数:40人(無料)



箸別避難小屋(箸別ルート登山口) 標高:490m P 30台/収容人数:10人(無料)

暑寒別岳の高山植物

暑寒別岳登山の最大の楽しみは6月～7月の山頂台地付近に咲き誇る100種類を超える高山植物。暑寒別岳は花の百名山の仲間入りをしており、マシケゲンゲ、マシケオトギリ、マシケレイジンソウは暑寒別岳の固有種です。



マシケレイジンソウ
(暑寒登山道5合目)



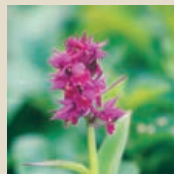
マシケゲンゲ
(山頂台地)



マシケオトギリ
(登山道、山頂台地)

【雨竜への縦走路(南暑寒ルート/暑寒別岳頂上から約5時間30分)】

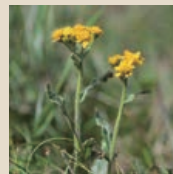
暑寒別岳→4km→南暑寒岳→3km→雨竜沼湿原→5.4km→雨竜町南暑寒荘までおよそ12.4km



ハクサンチドリ
6月下旬～7月上旬/
山頂台地



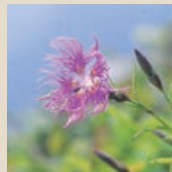
ミヤマリンドウ
6月下旬～7月上旬/
山頂台地



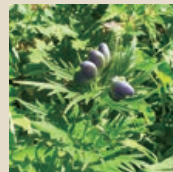
ミヤマオグルマ
7月/山頂台地、箸別登山道



チシマギキョウ
7月上旬/箸別7合目



タカナナデシコ
7月中旬/箸別8合目



エゾ/ホソバトリカバ
8月中旬/山頂台地



【町名の由来】
増毛の町名の由来は、鯨(ニシン)が群来(くき)すると海一面にカモメが飛ぶことから、アイヌ語で「カモメの多いところ」という意味の「マシケイ」が転じたものであるといわれています。



動画でみる
増毛の魅力
増毛町観光動画
ポータルサイト
mashiketv.com

えび籠漁

ボタンエビ

甘エビ

生寿司

北の漁場「ましけ」には
いつだって旨い寿司がある

ウニ丼

極上の甘み、磯の香り
前浜で獲れた「ましけ」のウニ丼。

イクラ丼

伝統の技術で塩漬けたサケの子
が、てんこ盛りに乗っています。

甘エビ丼

ぷりぷりが凄い
甘味が凄い「ましけ」の
甘エビ丼。

海鮮丼

旨さここに極る！
「ましけ」の人気NO.1

素晴らしき 海の 恵み。

増毛町の海の幸を代表する甘エビ、
ホタテ、タコは、一年を通して水揚げ
されているため、いつ町を訪れても
味わうことができます。

また、水揚げされる旬の海産物は、
春のニシン、カレイ類、夏はツブ、ウ
ニ。秋のサケ、アワビ、冬にはタラ、カ
ジカ、カスベなど。

暑寒別岳の恵みともいえるミネラル
豊富な伏流水も、増毛近海の豊かな
海産資源を生み出す大切な源になっ
ています。

ミズダコ

青ツブ

キタムラサキウニ

エゾバフンウニ

ホタテ

ウニ漁

鮭(サケ)

定置網の鮭漁

旬魚 カレンダー

※1…アカガレイ、ソ
ウハチガレイ、ナメタ
ガレイ、マガレイ、クロ
ガレイ

※2…ホッコクアカエ
ビ、トラエビ、シマエビ
イバラモエビ

1月 2月 3月 4月 5月 6月

<通年>カレイ類

カジカ

カスベ

タラ

ニシン

ソイ

<通年>エビ類

銀杏草

刺身盛合せ

旬の新鮮な魚介が山盛り
漁師町ならではの極み。

生寿司

北の漁場「ましけ」には
いつだって旨い寿司がある！

ウニ井

極上の甘み、磯の香り
前浜で獲れた「ましけ」のウニ丼。

イクラ丼

伝統の技術で塩漬けしたサケの子
が、てんこ盛りに乗っています。

甘エビ丼

ぷりっぷりが凄い
甘味が凄い「ましけ」の
甘エビ丼。

海鮮丼

旨さここに極る！
「ましけ」の人気NO.1

素晴らしい
海の恵み。

増毛町の海の幸を代表する甘エビ、ホタテ、タコは、一年を通して水揚げされているため、いつ町を訪れても味わうことができます。

また、水揚げされる旬の海産物は、春のニシン、カレイ類、夏はツブ、ウニ。秋のサケ、アワビ、冬にはタラ、カジカ、カスベなど。

暑寒別岳の恵みともいえるミネラル
豊富な伏流水も、増毛近海の豊かな
海産資源を生み出す大切な源になっ
ています。

旬魚
カレンダー

※1…アカガレイ、ソウハチガレイ、ナメタガレイ、マガレイ、クロガレイ

※2…ホッコクアカエビ、トラエビ、シマエビ、イバラモエビ

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
＜通年＞カレイ類※ ¹ 、ヒラメ、ホッケ											
カジカ									カジカ		
カスベ									カスベ		
タラ			ソイ						サケ、ブリ		
ニシン											
＜通年＞エビ類※ ² 、ホタテ、タコ											
						ナマコ			アワビ		
銀杏草						ウニ					
ツブ											

うるわしき山の恵み。

暑寒別岳の麓には120ヘクタールの果樹園が広がり、扇状地特有の水はけの良さと寒暖差に加え、果樹栽培の長い歴史と共に培われた技術が甘味と旨味の強い果実を生み出します。初夏のイチゴ、サクランボに始まり、秋のリンゴや洋ナシまで、いろいろな種類の果実が収穫・販売されており、サクランボやブドウなどの果物狩りも人気です。



果樹 カレンダー

6月			7月			8月			9月			10月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
←イチゴ→			←サクランボ→			←ブルーベリー→			←モモ→			←ブドウ→		
			←プラム→			←ブドウ→			←ブルーン→			←ナシ→		
						←リンゴ→								

清らかな水の恵み。

肥沃な大地と夏場の寒暖差の大きさに加え、梅雨や猛暑の影響が少ないため、病害虫の発生が少ない増毛のお米。

南るもい米として、主に「ななつぼし」「ゆめぴりか」を作付けしています。美味しさの秘密は、暑寒別岳の豊富な伏流水です。低タンパク良食味として人気のお米です。



ましけのお酒。

明治15年創業の蔵元の地酒や増毛町で採れたりんごだけを発酵させたシードルなど



暑寒別連山から湧き出る幾筋もの溪流は暑寒別川の本流へと流れ込み、豊富で良質な水を増毛の町へ届けてくれます。



「北のクリーン農産物表示制度」の登録。減農薬に取り組む、安心・安全のフルーツ栽培を実践。



増毛フルーツワイナリー
暑寒沢184-2 ☎0164-53-1668

甲谷商店
島中町5丁目175
☎0164-53-1063



国稀酒造 稲葉町1丁目17 ☎0164-53-1050



ましけの 水産加工品。

増毛の前浜で水揚げされた
新鮮な海産物を使い
種類豊富な水産加工品が
手づくりされています



港町市場 遠藤水産 港町4-26 ☎0164-53-2000



丸万水産 畠中町3丁目 ☎0164-53-1603



はますい 別荘417-1 ☎0164-53-9410



北日本水産物直売店 畠中町1丁目 ☎0164-53-3888



孝子屋 ぐるめ食品 弁天町1丁目 ☎0164-53-1213

伝統の技が 逸品を生む。

ニシン漁で栄えた増毛町には数の子、糠ニシンなどの加工技術が受け継がれています。近年では、タコ柔らか煮、サケトバ、イクラしょうゆ漬け、ウニ一夜漬け、スモークサーモン、タラコ、タコ、エビ、スケソウダラ珍味なども人気です。伝統ある匠の技が、特産品を日々生み出しています。

お土産に、人気の特産品を。

ましけの
ジャム・果汁・蜂蜜。
増毛に来なければ手に入らない
じっくりゆっくり手づくりされた
天然素材100%の
果実や植物の恵み



まつやま養蜂園
暑寒沢221 ☎0164-53-3487



佐藤健一果樹園
暑寒沢100-8 ☎0164-53-3202



秋香園
暑寒沢236 ☎0164-53-2117



増毛町農産加工組合
畠中町5丁目 ☎0164-53-2027



山口果樹園
暑寒沢448-5
☎0164-53-1719



仙北要果樹園
暑寒沢417
☎0164-53-1440



マルゼン佐藤果樹園
暑寒沢133-2
☎0164-53-1508



池田果樹園
暑寒沢133-2
☎0164-53-2467



菊池果樹園
暑寒沢193
☎0164-53-1466



ヤマセン仙北果樹園
暑寒沢253-3 ☎0164-53-1722



パパヤの里マルコ 富野果樹園
暑寒沢 ☎0164-53-2484



ましけのお菓子。

昭和初期創業の老舗菓子店から
町民好みの味のパン屋さんまで
おみやげに買ってよし
自分で食べてよし

SKANPIN(スカンピン)
畠中町3丁目80-5
☎0164-53-3935



山崎菓子店
稲葉町2丁目 ☎0164-53-2303



スイーツ・ケパル
南畠中町6丁目67-4 ☎0164-53-3155



中村屋製菓
南永寿町1丁目 ☎0164-53-2321



いっぱい遊んだり、じんわり癒やされたり アクティビティのすすめ。

アクティブに過ごす、大地と清流に
癒やされ、心も体もリフレッシュ。

増毛リバーサイドパーク

暑寒別川の河口から800m上流にある広さ10haの総合公園。総天然芝の多目的広場があり、オートキャンプ施設が充実。電源付きのスタンダードカーサイト、キャンピングカーサイト、コテージ、ランドリーやシャワー、サニタリーハウスを備え、パークゴルフ場、テニスコートなどの快適なアウトドアを楽しめます。総管理施設のセンターハウスには、焼肉や地物の素材を生かした人気のメニューを揃えたレストランや売店もあります。

お問い合わせ

別荘459番地外 ☎0164-53-1385(センターハウス) B利用期間/4月下旬～10月中旬
【増毛町パークゴルフ場】 南暑寒町1 ☎0164-53-2427(増毛町教育委員会)



増毛ゴルフ倶楽部

日本海沿いの高台に位置するリンクスコース。海に向かって、山を背にして打つショートが名物ホール。初心者～上級者まで楽しめるコースです。

お問い合わせ

阿分265 ☎0164-54-2144
【営】4月下旬～10月下旬

ノールマリーナましけ

道内初の本格的公共マリーナ。約60隻の係留桟橋やボートヤード、駐車場を完備。プレジャーボートをイメージした管理棟があります。

お問い合わせ

中歌35-4 ☎0164-53-3939

暑寒別岳スキー場

市街地から車で5kmの好アクセス。初級者～上級者まで対応の全5コースはペアリフト2基を完備。北欧風ロッジには休憩所やレストランがあり快適です。

お問い合わせ

暑寒沢698-1 ☎0164-53-3002
【営】12月中旬～3月中旬

オーベルジュましけ

増毛出身・三國清三シェフ監修の、宿泊施設を備えたレストラン。地産地消にこだわり、新鮮な山海の幸を使った料理を提供。トロン温泉も楽しめます。

お問い合わせ

別荘217-1 ☎0164-53-2222

岩尾温泉 あったま〜る

海岸沿いの小高い丘にある日帰り専用温泉。単純酸性泉は皮膚病やリウマチなどに効くと好評。海を眺め潮風に吹かれて波の音を聴く、癒やしのひと時を。

お問い合わせ

岩老109 ☎0164-55-2024
【営】4月～11月

岩尾温泉宿 夕陽荘

浴室から日本海を一望する源泉温泉宿。日帰り入浴や岩盤浴も楽しめます。宿の料理は地元の新鮮な魚介や食材の炭焼き。旬の味覚を堪能できます。

お問い合わせ

岩老140 ☎0164-55-9611
【営】4月～11月



暑寒別岳の麓に咲く。

春

春の味まつり
[5月最終土・日]



増毛特産の甘エビ即売や、水産加工品販売や飲食屋台など増毛の味覚や露店が並び、初夏の一大イベント。限定地酒販売の酒蔵まつりも同時開催。



6月中旬

暑寒別岳
山開き

暑寒別岳の
夏山登山を
告げる山開き。



夏の夜空に咲く。

夏

厳島神社例大祭 [5月12~14日]
港まつり [7月最終日曜日]



灯籠流し



厳島神社例大祭や町内の神社祭で夏がスタート。増毛港を会場に、花火大会やビアパーティ、旬の海産物が並び露店など、増毛の夏を存分に満喫できる港まつり。



8月中旬

納涼盆踊り
大会

国際色に浴衣も彩る盆踊り、短い夏を踊り明かそう!



銀杏大樹に咲く木漏れ陽。

秋

秋の味まつり
[9月最終日曜日]



ホタテや鮭など海の幸、果物やお米など山の幸を中心に水産加工品や飲食屋台・露店がズラリと並び秋の味覚まつり。



9月上旬

果物の販売
フルーツ狩り

暑寒沢に広がる果樹園では秋の果実がたわわに実ります。



静かな駅舎に咲く灯台の赤。

冬

暑寒別岳スキー場フェス
[3月最終日曜日]



白銀の暑寒別岳と紺碧の日本海という抜群のロケーションでウインタースポーツを楽しんだら、家族で楽しめるイベントがいっぱい!



1月中旬

新酒の
仕込み

最北の清酒蔵で始まる、こだわりの酒造り。

増毛町観光地図

各店舗の詳細情報は、
28～30ページをご覧ください。

17 7 ステンドグラス
←至留萌 喫茶ボルク



暑寒沢地区
以外の果樹園



- 観光案内 ●宿泊施設 ●温泉
- 飲食店 ●特産品直売 ●ナイトスポット
- フルーツ直売 ●史跡



- 地図アイコン
- キャンプ場
 - アウトドアスポーツ
 - 駐車場
 - バリアフリートイレ
 - トイレ
 - 温泉・浴場
 - コンビニ
 - 果樹園
 - 体験施設
 - 観光施設等
 - 公園



**増毛町
観光店舗・施設
情報**

店舗位置はP26-27の
地図でご確認ください

☎市外局番 0164

観光案内

※各店舗は2023年
10月現在の
一覧です。

駅前観光案内所
弁天町1丁目
☎53-1108
【休】11月中旬～4月中旬

**ホテル
旅館・民宿**

営業時間等は
お問い合わせください

**1 オーベルジュましけ
(トロン温泉)**
別荘217-1
☎53-2222



**2 ぼちぼちいこか
増毛館**
弁天町1丁目
☎53-1176



3 民宿 新川
稲葉海岸町
☎53-1678



4 民宿 たけうち
稲葉海岸町
☎53-3007



5 民宿 まあめいど
永寿町2丁目
☎53-3096
(食事処)



6 丹保旅館
岩老365
☎55-3138

コテージ

営業時間等は
お問い合わせください



7 コテージ ポルク
見晴町1058-11
☎53-3485



8 コテージ ミンズ
南暑寒町6丁目
☎53-2400
【休】不定休・冬期間



**9 リバーサイドパーク
オートキャンプ場**
別荘459 ☎53-1385
【休】10月中旬～4月下旬

温泉

営業時間等は
お問い合わせください



**1 岩尾温泉
あったま〜る**
岩老109 ☎55-2024
【休】第3木曜・冬期間



**2 岩尾温泉 夕陽荘
(せきようそう)**
岩尾140 ☎55-9611
【休】冬期間
※岩盤浴・宿泊可

飲食店

営業時間等は
お問い合わせください



1 寿司のまつくら
弁天町1丁目
☎53-2446
【休】第1・3木曜



2 鮎・IZAKAYA 忠
稲葉町1丁目
☎53-3289
【休】水曜(不定休あり)



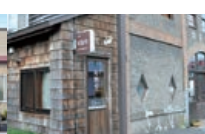
3 寿し忠
弁天町2丁目
☎53-2690
【休】火曜



4 麺屋 田中商店
稲葉町1-16-2
☎53-3680
【休】不定休



5 福よし
永寿町2丁目
☎53-1190
【休】火曜



6 壱式壱式
畠中町5丁目
☎53-1212



8 松ノ倉
稲葉町1丁目
☎56-1644
【週末のみランチ営業】



9 Cafe de SOBA 凜
永寿町1-5
☎56-0063
【休】木曜



10 ろばた
畠中町4丁目
☎
【休】



11 オーベルジュましけ
別荘217-1
☎53-2222



12 御食事処 陣屋
別荘1-11
☎53-1576
【休】不定休・冬期間



**13 リバーサイドパーク
センターハウス**
別荘459
☎53-1385
【休】10月中旬～4月下旬



14 海栄(かいえい)
中歌下22-13
☎090-8274-7710
【夏期間土日のみ営業】



15 まあめいど
永寿町2丁目
☎53-3096
(宿泊あり)



16 モー一族のうしだや
弁天町1-21
☎56-1814
【休】水曜



17 喫茶ポルク
見晴町1058-11
☎53-3485
【休】水曜



18 レストハウス雄冬
雄冬
☎55-3241
【休】不定休・冬期間
(宿泊あり)



19 鈴木かまぼこ店 増毛店
稲葉町1丁目
☎53-1353
【休】火曜・冬期間



20 ありすこひい工房
稲葉町1丁目
☎090-8633-9590
【休】不定休(要確認)



21 ふるふるトマト
稲葉町1丁目
☎090-9759-2145
【休】不定休・冬期間



22 すが宗
稲葉町1丁目
☎53-3540
【金土日のみ営業】



23 ラーメンこころ
弁天町1丁目
☎56-4356



24 海鮮串焼き たぬ吉
稲葉町1丁目14-3
☎
【休】



25 ぱくり
弁天町1丁目
☎070-3781-5854
【休】日曜・月曜・祝日
(テイクアウトのみ)

**特産品
直売**

営業時間等は
お問い合わせください



1 孝子屋 ぐるめ食品
弁天町1丁目
☎53-1213
【休】年末年始



2 だるまや商店
畠中町1-1-1
☎53-1369



3 港町市場 遠藤水産
港町4-26
☎53-2000
【休】火曜



4 北日本水産物直営店
畠中町1丁目
☎53-3888
【休】月曜



5 国稀酒造
稲葉町1-17
☎53-1050
【休】年末年始



6 高橋菓子店
弁天町1丁目
☎53-2135
※予約製造



- | | | | | |
|--|--|--|---|---|
| 7 山崎菓子店
稲葉町2丁目
☎53-2303
【休】不定休 | 8 中村屋製菓
南永寿町1-22
☎53-2321
【休】不定休 | 9 はますい
別荘417-1
☎53-9410
【休】不定休 | 10 すが宗
稲葉町1丁目
☎53-3540
【休】不定休
(地産地消の土産店) | 11 松ノ倉
稲葉町1丁目
☎56-1644
【休】不定休
(地産地消の土産店) |
|--|--|--|---|---|



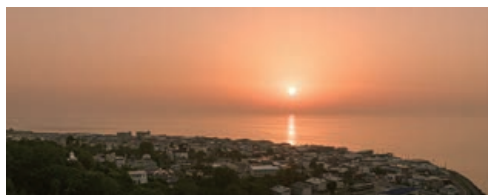
- | | | | | |
|--------------------------------------|--|--|---|--|
| 12 丸万水産
畠中町3丁目
☎53-1603 | 13 関山豆腐店
畠中町3丁目80-5
☎53-3935
【休】日曜 | 14 スカンピン
畠中町3丁目80-5
☎53-3935
【休】日曜 | 15 増毛フルーツワイナリー
暑寒沢184-2
☎53-1668
【休】火曜・水曜 | 16 須磨釣具店
永寿町1丁目
☎53-1503
【休】年末年始 |
|--------------------------------------|--|--|---|--|



- | | | | | |
|---|--|---|---|---|
| 17 田中青果 増毛直売店
永寿町1-3-1
☎090-3117-0858
【休】11月～4月下旬 | 18 秋香園直売所
永寿町1丁目
☎53-2117
【休】不定休 | 19 まつやま養蜂園
暑寒沢221
☎53-3487
【休】不定休 | 20 フルーツラボ
稲葉町1丁目
☎090-8705-5448
【休】土日祝日のみ営業
(7・8月無休) | 21 増毛フルーツ工房 果凛
暑寒沢448-5
☎53-1719
※山口果樹園 |
|---|--|---|---|---|



- | | | | | |
|--|---|--|--|---|
| 22 スイーツ・ケパール
南畠中町6丁目67-4
☎53-3155 | 23 甲谷商店 (漁師の力酒)
畠中町5丁目175
☎53-1063 | 24 オーベルジュまじけ (売店お土産コーナー)
別荘217-1
☎53-2222 | 25 Cafe de SOBA 凛 (売店お土産コーナー)
永寿町1-5 ☎56-0063
【休】木曜 | 26 駅前観光案内所 (売店お土産コーナー)
弁天町1丁目 ☎53-1108
【休】11月中旬～4月中旬 |
|--|---|--|--|---|



- 1 華音(かのん) ☎53-1081
- 2 もっちゃん ☎53-3193
- 3 サンフラワー ☎53-3880
- 4 ラッキー ☎53-3223
- 5 エルザ ☎53-1455

※営業時間、定休日は
問合せ下さい。



- | | | |
|--|--|--|
| 1 高橋果樹園 ☎53-1754
2 佐藤健一果樹園 ☎53-1793
3 笑興園 ☎53-1755
4 かぶとフルーツ ☎53-1743
5 阿部果樹園 ☎53-2947
6 池田果樹園 ☎53-2467
7 佐藤果樹園 ☎53-1559
8 菊地果樹園 ☎53-1466
9 阪口果樹園 ☎53-1844
10 全ヤマセン仙北果樹園 ☎53-1773 | 11 千果園 ☎53-1469
12 本間果樹園 ☎090-1640-7484
13 まつやま養蜂園 ☎53-3487
14 後藤果樹園 ☎53-3177
15 山口果樹園 ☎53-1719
16 パパの里 富野果樹園 ☎53-2484
17 仙北要果樹園 ☎53-1440
18 仙北昌洋果樹園 ☎53-1400
19 増毛フルーツワイナリー ☎53-1668
20 秋香園 ☎53-2117 | 21 今田果樹園 ☎53-2570
22 佐藤くらんぼ農園 ☎54-2833
23 尾久果樹園 ☎53-2796
24 木谷果樹園 ☎53-1962
25 大嶋果樹園 ☎53-1965
26 古村農園 ☎53-2439
27 小河果樹園 ☎53-3233
28 遠藤くらんぼ園 ☎090-2072-2811 |
|--|--|--|

※時期及び施設の関係で
直売ができない場合が
ありますのでお問合せ
下さい。

増毛へのアクセス情報

本州からの交通



- 東京～稚内／約1時間45分
- 東京～千歳／約1時間30分
- 東京～旭川／約1時間45分

道内主要拠点からの交通



マイカーを利用する場合

【札幌から】

- 高速道路・一般国道自動車専用道路(無料)を利用
深川JCTを経由し留萌ICまで(約144km)高速・一般国道
自動車専用道路(無料)で約1時間30分
留萌IC～増毛間は、国道232号・231号(約25km)で約30分
- 一般国道を利用する場合
国道231号(約110km)で約2時間または、国道275号、
北竜町より道道94号・国道231号(約153km)で約2時間30分

【旭川から】

- 高速道路・一般国道自動車専用道路(無料)を利用
深川JCTを経由し留萌ICまで(約81km)高速・一般国道
自動車専用道路(無料)で約50分
留萌IC～増毛間は、国道232号・231号(約25km)で約30分
- 一般国道を利用する場合
国道12号・233号・231号(約110km)で2時間



バスを利用する場合

- 札幌～増毛/約2時間15分(1日1往復、乗り換えなし)
[沿岸バス]
- まる札幌～留萌/約2時間10分 [北海道中央バス]
留萌～増毛/約30分 [沿岸バス]
※バスの時刻などは各バス会社へお問い合わせください
沿岸バス ☎0164-62-1550
北海道中央バス ☎011-231-060



JRとバスを利用する場合

- 札幌～深川/特急約1時間(乗り換え)
- 深川～留萌/バス(沿岸バス)約1時間
- 留萌～増毛/バス(沿岸バス)で約30分
沿岸バス ☎0164-62-1550
※運行ダイヤや運休等の確認はJR北海道へ
お問い合わせください

